

資料提供(投げ込み) 平成29年8月23日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
健康福祉部 こども支援課 (電話059-229-3284)	こども支援課長 豊濱 博幸

## 学校法人高田学苑による白い小箱（非常用備蓄食品） の寄贈について

学校法人高田学苑から、白い小箱（非常用備蓄食品）を津市に寄贈していただきます。

つきましては、下記のとおり贈呈式を行います。

### 記

- 1 日時  
平成29年8月25日(金) 11時00分から
- 2 場所  
庁議室（市本庁舎4階）
- 3 出席者
  - (1) 贈呈者  
学校法人高田学苑  
事務局長 河北 浩峰  
生徒会の方も出席予定  
一般社団法人日本非常食推進機構  
代表理事 古谷 賢治
  - (2) 受領者  
津市長 前葉 泰幸  
健康福祉部長 田村 学  
健康福祉部次長 福森 稔  
こども支援課長 豊濱 博幸
- 4 寄贈品  
白い小箱（非常用備蓄食品） 約160個
- 5 寄贈の趣旨  
学校の地域貢献活動として取り組む白い小箱運動の一環で、校内での非常用備蓄（3年間）という役割を終えた賞味期限の残る白い小箱（非常用備蓄食品）を協賛者である両校卒業生から御提供いただき、支援物資として有効活用するため、市内の児童養護施設へお届けする。

## ■ 寄贈品（白い小箱）



(梱包サイズ たて 22cm×よこ 24cm×高さ 9.5cm)

### 【 内 容 】

- ・ ウェットティッシュ 1 袋
- ・ レスキューシート 1 枚
- ・ 保存水 500 ミリリットル 2 本
- ・ 氷砂糖 1 袋
- ・ 羊羹 1 個
- ・ 簡易トイレ 2 枚
- ・ 缶づめパン (チョコ味) 1 缶

### 白い小箱運動とは

社団法人日本非常食推進機構の働きかけのもと、平成23年度に始まった運動。

1人分の非常用備蓄食品を詰めた白い小箱を家庭や職場などに常備することによって、各々の防災意識を向上させる「自助」の仕組み、大規模な災害が発生した場合には白い小箱を支援物資として利用し、地域住民や企業が連携しながらお互いに助け合うことができる「共助」の仕組み、行政が中心となり共に運動を進める「公助」の仕組みを三本の柱として、いつどこで起こるか分からない様々な災害に備え、日本全国どこにいても助け合える仕組みを作り上げるための備蓄品として白い小箱の配置を推進する。